

「魅せられて9月」

平成26年9月19日

食べ物がより美味しい季節、そう、待ち望んだ「食欲の秋」がやってきました。

美味を仲間で囲むこの時期は、苦も分かち合うことで楽に転じてしまう楽観的な気持ちになります。また、紅葉する景色を見れば、感慨深くなってしまう不思議な季節です。

さて、【コラム】について調べてみましたら、「新聞などに掲載されるニュース以外の記事で、個人的な分析・意見が含まれるもの」とありました。

さておき、皆さんご存知かと思いますが、私たち熊本市役所第一職員労働組合の拠点である熊本市には、日本三名城の一つ「特別史跡 熊本城跡」があります。

「熊本城」は、世界最大の旅行者コミュニティであるトリップアドバイザーから「行ってよかった日本の城」において、2013に引き続き、2014についても第1位を頂きました。

最も嬉しく誇らしいのは、「行きたい」ではなく「行ってよかった」である点です。

熊本城を管理するものとしては、おもてなしの精神を大切に、立派なお城をきれいな状態で堪能してもらうことで、気持ちよく帰っていただくというところに重点をおき、日々、気を配っているところです。

例のごとく・・・置き換えてみました。

先日、ある組織内において、尊敬し、慕い、目標としてきた先輩の卒業を祝う慰労会がありました。

先輩からは、これまで長く携わってきたものの、達成感が思うように得られず、やり残したことが気になると心残りを聞かされました。また、後輩としては、改めて甘えていた状況を見つめ、成長しきれなかったことを反省し、不安と寂しさを感じたところでした。

それぞれにおいて任期は違えど、しかるべき時期がくれば、あたりまえにあるものとして頼ってきた上司・先輩・同志の卒業が訪れます。

卒業時には、長い時間培われ受け継がれてきた精神、知識、ノウハウを後世に繋ぎ、任せられる組織づくり・人づくりを行うことで、「やってきてよかった」と皆が振り返れるように、また、卒業後は、時には鞭打ち叱咤激励しながらも、何時も協力を惜しまない良好な関係を構築しておきたいものです。

私たちににとって大切なのは、「一貫して個の尊厳を基本とした《自由と民主主義と社会正義》の実現を運動の基本理念に官公労働運動を推進すること」であり、自分の心の中で正しいと信じている事をする事です。

これから先、誰もが「やってよかった」と日ごろから思えるのを目標に、仲間との時間を十分にとり、苦楽を共にする同志と、より団結を深めていけたらと願います。